

かざね  
四万十の風音

しんせん  
森&川だより

三校で八面山登山体験学習

四万十川の支流で黒尊川源流域の森林である八面山や吊尾根の天然林は、野生生物やシイ・カシ林からモミ・ツガ林、ブナ林への植生の移り変わりなどつぶさに観察出来る良いフィールドです。

10月に四万十市立西土佐中学校と西土佐小学校、愛媛県松野町立松野西小学校の三校合計64名を対象に八面山登山体験学習を実施しました。

それぞれの学校とも準備運動の後、登山口を出発し歩道沿いの樹木や二ホンジカの食害などの学習をして約50分で八面山山頂(1,165m)に到着しました。

西土佐中学校



松野西小学校



西土佐小学校



山頂では、高知県と愛媛県の県境や遠くに見える三本杭のすぐ右の山、横の森という所に藩政時代に土佐藩と宇和島藩と吉田藩とがそれぞれの領地の境として杭を立てていたことから、それがいつのまにか「三本杭」いう現在の山の呼び名になっていること、また、源流域の森林が川本来の良好な清流を育てていることを説明しました。

その後、八面山吊尾根のブナ天然林へ移動して、「ブナ天然林の価値」や「森林のはたらき」などを説明した後、自然散策やネイチャーゲームの「カモフラージュ」や「サウンドマップ音いくつ」などをして勉強しながら秋の一日を楽しみました。

下山後に児童生徒から、「学校での事前学習や登山を通して森林のはたらきやいろいろな樹木を知ることができました。ネイチャーゲームもとても楽しかったです。」との感想がありました。

この森林教室でウリハダカエデやケヤキなど木肌の異なる木の手触りを確かめたり、ミズメの木肌はサクラと似てるけどミズメの樹液はサロンパスに似た匂いがすることやブナの森の土や落ち葉は手で触れてみるとフカフカなことなど、体験や学習を通して児童生徒の自然や森林等への理解と関心が深まったと思います。



## 二校で年間を通した森林環境教育を実施

9月26日に松野町立松野西小学校四年生15名、また、11月14日には宿毛市立小筑紫小学校五年生13名を対象に、二校とも第4回目の森林環境教育として「土にすむ生物」と「水の土壌浸透実験」を実施しました。

最初に、「土にすむ生物」の講義で土の中の生き物の役割について説明しました。

事前に観察用の土を準備した土にすむ生物の観察では、実体顕微鏡を覗きながら肉眼では見ることのできない土壌微生物などの生き物を見つけ出してはスクリーンにその姿を映してみんなで観察しました。この講義と観察を通して土にすむ生物の存在に気づくと共にそのはたらきを学習しました。

次に、「水の土壌浸透実験」で、山の模型を使って「木のある山」と「木のない山」を再現し、2班に分かれてじょうろに入れた水を雨に見立てて降らせ、時間の経過と共にどういふ変化が出るのか実験・観察をしました。木や枯葉を通して出てくる水は薄い濁りで計量カップに溜まっていくのに対し、木も枯葉もない土がむき出しの模型からは一気に濁った水が計量カップに溜まる様子を目の当たりにし、家の模型が倒れて土がはがれて緑色の底板が見えると、児童達から「土砂崩れだ」とざわめきが起こりました。

変化の多い「木のない山」の模型と、変化の少ない「木のある山」の模型と、それぞれ水を入れた量や水の出た量を計算してその違いを比較しました。

実験後にはパネル等を使って、森林には「水を蓄える」、「土砂崩れを防ぐ」など大切な働きがあることをふりかえり学習しました。

最後に児童から感想があり、「山の模型の実験と観察で森林は緑のダムという話は本当だと感じました。」「私は木のある方に住みたいと思いました。」等の感想があり、森林環境教育を複数回積み重ねて実施した結果、児童の森林のはたらきや身近な自然の大切さについての理解と関心が深まったと考えます。

### 松野西小学校



### 小筑紫小学校



## 滑床山シカ防護ネット柵設置

11月2日から11月6日の間で、裸地化が目立つ「滑床山熊のコル手前のギャップ」にシカ防護ネット柵(面積0.45ha、ネット延長約335m)を設置しました。

この結果、これまでに設置したシカ防護ネット柵は面積6.87ha、延長4,430mとなりました。

## 作業中



## 完成後



## シカ防護ネット柵設置の効果

ネットで囲んだ所はシカに樹皮や下層植生を食べられたりしないことから、ネット設置から数年経過すると、植生が衰退していた箇所でもミヤコザサ等の植生が徐々に回復しています。





## しまんと黒尊むらまつり

11月11日、四万十市西土佐黒尊の黒尊親水公園で第12回目となる「しまんと黒尊むらまつり」が、自然との共生や地域の盛り上げを図る黒尊川流域の住民グループ「しまんと黒尊むら」と「四万十くろそん会議」の主催で開催されました。



当センターからは、「体験コーナー」の担当で参加しました。

当日は秋晴れの晴天となり土佐清水市や黒潮町からの団体客など沢山の来場者で賑わい、老若男女にイスノキ製のマイ箸作りやミズメなどの小枝や杉板の輪切りを使ったゆるキャラなどのストラップ作りを通して木に親しんでいただきました。

会場では黒尊川流域の各地区の 사람들이 地元の食材を使ったイノシシ汁やシカの串焼き、つくたての餅などを販売し、来場者が買い求めてはおいしいと舌鼓を打っていました。また、会場を盛り上げる西土佐みのり太鼓の演奏会も行われ、最後のお楽しみのはしゃけん大会では勝者には地元の農産物や加工品などビックな

景品が貰えるとあって参加者も見ている人も大興奮し、終日会場は大変賑わいで、秋が深まりつつある黒尊川流域での一日を満喫されました。

## しまんと黒尊むらまつり



### マイ箸作り



### ストラップ作り



## 旧西ヶ方小学校でクリスマスツリーの置物作り

四万十市立西土佐小学校から「木工体験を通してふれあいセンターや西ヶ方<sup>にしがほう</sup>地域に親しみを持ちたい。」と11月24日、二年生12名が予土線<sup>よどせん</sup>の江川崎駅から西ヶ方駅まで汽車に乗ってふれあいセンターのある旧西ヶ方小学校にやって来ました。

空いた教室で、クリスマスも近いことから大王松の松ぼっくりをクリスマスツリーに見立てた置物作りをしました。

先に作り方を説明したのち、児童達が松ぼっくりに木の実などの自然素材やビーズ等で装飾し、サンタクロースや雪だるまに切り抜いたスギ板に色ぬりをした後、ボンドでヒノキの台座に貼り付けて作品が完成しました。

児童からは「貼る場所や使うものが沢山選べて頭の中で想像しながらつくれたので楽しかったです。」「かわいくできたので家の玄関に飾って家族みんなにみてもらいます。」との感想をいただき、楽しみながら木材に親しんでもらいました。

今回の木工クラフト作りを通して、木の持つ温もりと素材としての木材の良さを十分に感じてもらえたものと思います。



西土佐小学校(旧西ヶ方小学校にて木工教室の様子)



## 松田川小学校で校庭の樹木学習と木工クラフト教室を開催

宿毛市立松田川小学校より要請を受けて、11月27日に三・四年生17名を対象に校庭の樹木学習、30日には一・二年生17名を対象にした木工クラフト教室を開催しました。

樹木学習では、最初に森林環境教育用の下敷き「いろいろな木と葉っぱ」で観察するポイントについて簡単に説明した後、幹や枝葉に触れさせ木の肌の感触や葉の匂いを嗅がせるなどの体感を通して17種の樹木についての名前や特徴が理解出来るよう説明しました。

その後、ヒノキの板に、ポスターカラーで科名と和名を書き、余白には思い思いのイラストを描いて樹木名板を完成させ、シュロ縄を使って樹木に取り付けました。

また、木工クラフト教室はこの時期にマッチしたクリスマスリース作りをしました。

先に作り方を説明してサンタクロース・雪だるまに切り抜いたヒノキ板に色ぬりをした後、ボンドでスギ板のリースに見立てた円盤に貼り付けて、木の実などの自然素材やビーズ等で装飾して作品を完成させました。

児童からは「クスノキやビワの葉っぱがすごくいい匂いがしてびっくりした。」「校庭の樹木に名札を取り付けたのでみんなに見てもらいたいと思います。」「リースがとても良くできたのでクリスマスに家の玄関に飾ってもらいます。」との感想をいただき、楽しみながら樹木や木材に親しんでもらいました。

今回の森林環境教育を通して、樹木についての理解や興味、木材の良さを十分感じてもらえたと思います。

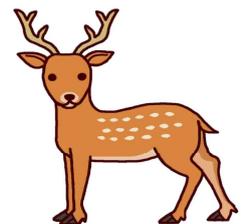
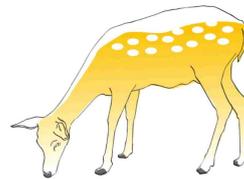




## 松田川小学校(校庭の樹木学習と木工クラフト教室の様子)



## ニホンジカの捕獲状況



当センターでは、高知県四万十市の黒尊山国有林周辺、愛媛県松野町の目黒山、宇和島市の滑床山国有林周辺において、大型・中型・小型の囲いワナ、合計19基を設置して、ニホンジカの捕獲に取り組んでいます。



滑床山



目黒山



黒尊山



平成29年度シカ捕獲実績 (平成29年12月末現在)

捕獲場所	合計
黒尊山国有林周辺(高知県)	32
滑床山国有林周辺(愛媛県)	10
合計	42

## シカ防護ネット柵のメンテナンス

これまでに、自然再生地に設置したシカ防護ネット柵の総延長が延びるに連れ、台風等によるネットへの倒木等や二ホンジカがネットに掛かって破損することがあるので、定期的な管理に努めています。

# 滑床山



破損した所からシカが進入し皮剥被害



台風により損傷したネット柵



補修作業中



補修作業中



林野庁 四国森林管理局  
四万十川森林ふれあい推進センター  
高知県四万十市西土佐西ヶ方586番地2  
電話0880-31-6030 FAX 0880-31-6031